

学 報

(昭和50年9月～昭和51年8月)

行 事

- 昭和50年
 ○9月1日 「会報19」発行
 ○10月10日 「樟蔭国文学 第13号(原田芳起博士古稀記念号)」発行
 ○10月22日 学外授業。二回生が西畑助教、安田講師、沢田助手のもとに時代祭を見学。
 Women's University
 ○11月2日 原田芳起博士古稀記念会
 ○11月21日 第十四回 国語国文学会総会
 Osaka
 研究発表「和泉式部日記研究」岩倉左夜、「江戸落語と上方落語に於ける語り方」そのポーズ「児山亨子・中塚圭子・米田昌子
 講演「日本語地図の話」大阪大学助教授 徳川 宗賢氏

昭和51年
 ○2月24日 卒業論文発表会及卒業論文に関するガイダンス

○3月20日 昭和50年度卒業式。大谷良子他13名卒業。

○3月21日 グランドホテルにて卒業パーティ

○4月12日 昭和51年度入学式

○4月17日 新入生歓迎会

○5月15日 学外授業。二回生が嘉部助教、安田講師、谷垣講師、遠藤助手檀原助手のもとに葵祭を見学。

○6月7日～19日 四回生教育実習

○7月3日 第18回 国語国文学会評議員会

人 事

昇任 教授 西畑 実

新任 教授 杉藤美代子
 教授 木村三四吾

専任講師

副手

研究室員

退職 大橋 正叔

昭和五十年国文学科講義題目

国文学概論

国文学史概説I

国文学史概説II

国文学研究

古代和歌

長篇物語の構造

源氏物語夕霧の巻論

平安美的語詞

和歌史論

中世歌人論

大鏡

太平記論

謡曲

歌舞伎史

檀原みずず

山口 葉子

大橋 正叔

久保 重

原田 芳起

嘉部 嘉隆

安田 純生

原田 芳起

久保 重

北村 英子

安田 章生

安田 章生

安田 章生

山本 和子

谷垣伊太雄

西畑 実

大橋 正叔

樋口一葉 山根 賢吉

漱石の文学 嘉部 嘉隆

児童文学 畠山 兆子

音声学 杉藤美代子

国文講読

万葉集 安田 純生

無名草子 久保 重

新勅撰集 西畑 実

軍記物語 谷垣伊太雄

西鶴 木村三四吾

浄瑠璃 横山 正

森鷗外の文芸評論 嘉部 嘉隆

演習 I

源氏物語―常木 久保 重

源氏物語―夕顔 安田 純生

源氏物語―若紫 安田 純生

源氏物語―空蟬 山本 和子

源氏物語―柏木 山本 和子

源氏物語―浮舟 北村 英子

源氏物語―橋姫 北村 英子

演習 II

三代集 安田 純生

式子内親王集

枕草子

徒然草

健寿御前日記

畠子と啄木

明治の文学理論

演習 III

伊勢物語

讃岐典侍日記

蘭曲

太平記

俳諧七部集

近代の文芸評論

演習 IV

古代文学

物語文学 I

物語文学 II

平安朝女流文学

和歌文学・謡曲

中世文学

近世文学 I

近世文学 II

西畑 実

北村 英子

谷垣伊太雄

大橋 正叔

山根 賢吉

嘉部 嘉隆

久保 重

安田 章生

西畑 実

谷垣伊太雄

木村三四吾

嘉部 嘉隆

明治・大正の文学

大正・昭和の文学

国語学

国語学概論

国語史・国語学史要説

国語法概論

国語表現論

話しことば

国語科教科教育法

嘉部 嘉隆

嘉部 嘉隆

杉藤美代子

杉藤美代子

泉 基博

西畑 実

杉藤美代子

山上ミチ子

杉藤美代子

受贈 図書(昭和50・1月~50・12月)

国語国文学報27・28集 愛知教育大学

跡見学園国語科紀要23号

青山語文5号 青山学院大学

日本文学研究10号 梅光女学院短期大学

人文学論集8・9号 仏教大学図書館

中央大学国文18号 中央大学

同朋国文8号 同朋大学国文学会

日本文学研究14号 大東文化大学

同志社国文学10号 同志社大学人文学会

人文学127・128号 同志社大学人文学会

- 文化学年報23・24号 同志社大学
 愛媛国文と教育6号 愛媛大学
 香椎瀉10号 福岡女子大学
 文芸と思想39号 福岡女子大学
 玉藻10・11号 フェリス女学院大学
 義仲寺108・110号 義仲寺史蹟保存会
 国語国文論集4号 学習院女子短期大学
 国文学研究3号 花園大学
 国語国文学誌4号 広島女学院大学
 国語国文研究54号 北海道大学
 学園論集25・26号 北海学園大学
 国文学放66・68号 広島大学
 平安朝文学研究3巻6号
 実践国文学7・8号 実践国文学会
 国文学研究資料館報4号
 国文学研究資料館紀要1号
 研究紀要9・10号 大阪城南女子短大
 上智大学国文学論集8号
 語学文学研究6号 金沢大学
 大妻国文6号 大妻女子大学国文学会
 大妻女子大学文学部紀要7号
 国文42号 お茶の水女子大学
 帯広大谷短期大学紀要12号
- 学大国文18号 大阪教育大学
 大谷女子大国文5号
 国語研究5・6号 大阪教育大学
 立命館文学352・357号 立命館大学
 立教大学日本文学33・34号
 論究日本文学38号 立命館大学
 文芸論叢11巻 立正女子大学短期大学部
 滋賀大国文12号
 親和国文9号 親和女子大学
 史料と研究4号 札幌大学
 文林9号 松蔭女子学院大学
 静岡女子大学国文学研究8号
 白珠30巻1・12号 白珠社
 成城文芸72・74号 成城大学
 専修国文16号 専修大学
 成蹊大学文学部紀要10号
 国文白百合6号 白百合女子大学
 殖生野国文5号 四天王寺女子大学
 島大国文4号
 国文鶴見10号 鶴見女子大学
 鶴見大紀要12号
 青須我波良10号 帝塚山短期大学
 紀要12号 帝塚山短期大学

日本文学研究6号 帝塚山学院大学
 山の辺の道19号 天理大学国文学研究室
 東京女子大学日本文学42・43号

樟蔭国文学 第十四号

昭和五十一年九月五日印刷
 昭和五十一年九月十日発行

編集者 大阪樟蔭女子大学
 国語国文学会
 (代表者 嘉部嘉隆)

印刷所 佛明新社大阪店
大阪市天王寺区上本町七丁目

発行所 大阪樟蔭女子大学
 国語国文学会
東大阪市菱屋二五八

- という部分もあるが、ゾラがこのことばを利用しているという意味での引用であるので、ゴットシャルの引用とは少々意味が異なる。
- 8 注6に同じ
- 9 注5に同じ
- 10 『近代文芸評論史 明治篇』（至文堂 昭50）のうち「第四章 批評原理の追求 1 森鷗外」
- 11 「比較（対照・参照）せよ」（相良守峯『大独和辞典』博友社、による）だから、必ずしも出典を示している必要はなく、他の解釈も可能であろう。
- 12 『文学者となる法』（右文社 明27）この本文は明治二六年中には出来上っていたと思われるが、それでも『しがらみ草紙』第二八号よりは二年ほどあとになる。
- 13 没理想論争そのものは、論点のくいちがいなどから、必ずしも鷗外が勝って、逍遙が負けたとは言えない面もあり、現在でもなお、問題を残しているが、いずれ統稿で論じたい。しかし、一般的には逍遙が言い負かされたという印象があったことも事実であろう。
- 14 樋口一葉「水の上日記」明29・5・2本文の引用は「一葉全集」第四卷（筑摩書房 昭29）によった。
- 日本文芸学 10号 日本文芸学会
高知女子大国文11号
国文学 51・52号 関西大学
共立女子大紀要 21輯
高知大学学術研究報告 6号
甲南大学紀要文学編17号
女子大国文 75・77号 京都女子大学
語文研究 38号 九州大学国語国文学会
国立国語研究所年報 25集
金城国文 60集 金城学院大学国文学会
国語国文学研究 9号 熊本大学
学苑 421・432号 昭和女子大学
国学院雑誌 75巻12号・76巻11号
国学院大学紀要 13号
駒沢国文 12号 駒沢大学
国語研究 38号 国学院大学
野州国文学 15号 国学院大学栃木短大
文芸研究 32・33号 明治大学文学部
武庫川国文 7号 武庫川女子大学
語文 40号 日本大学

（一一〇頁より続く）

文 献

(七五頁より続く)

- 1) 比企静雄他：日本語における舌と口蓋の接触パターン——ダイナミック・パレットグラフィによる観察、国立聴力言語障害センター発行、1975—3.
- 2) 杉藤美代子・中野節子：ザ行音とダ行音の混同について——兵庫県多紀郡の場合——日本方言学会第20回研究発表会発表原稿集、1975—5.
- 3) 原田芳起：ダ行ザ行間の訛りについて——その誘因に関する臆説——、東條操先生古稀祝賀論文集、近畿方言学会編、1955—4.
- 4) 大石初太郎、上村幸雄：方言と標準語——方言学概説、筑摩書房、1975—1、p. 233、p. 235、p. 270、p. 300、p. 319、p. 342、p. 376.
- 5) 村内英一：和歌山県方言、近畿方言の総合的研究、(棟垣表編)三省堂、1962—3.

(1976. 5. 13)

- 国語国文学 36号 名古屋大学
 国文目白 14号 日本女子大学
 文芸研究 78、80号 日本文芸研究会
 ノートルダム清心女子大国文科紀要 8号
 並木の里 10号 「並木の里」の会
 文学史研究 16号 大阪市立大学
 人文研究 26巻 3分冊 大阪市立大学
 女子大文学 26号 大阪女子大学
 語文 32輯 大阪大学
 人文学報 10号 東京都立大学
 人文科学紀要 60輯 東京大学
 国語学研究 14号 東北大学
 文学論藻 49号 東洋大学
 短期大学紀要 6号 東洋大学短期大学
 東海学園国語国文 7・8号
 苫小牧工業高等専門学校紀要 10号
 文学科紀要 2号 富山大学文理学部
 学術研究 23号 早稲田大学
 国文学研究 55、57号 早稲田大学
 和洋国文研究 10・11号 和洋女子大学
 古典と近代文学 15号 有精堂出版